第一回生として色々な意味での

とにこの三年間を振り返ってみ **吉雅多き三年間でもあつた。**こ

に「狭き門」を突破することに

大変な努力がいるのかは、受験

ろう。本校の生徒の学力が他校

くわえる為に努力する必要があ 心に於いて、常に基礎の力をた もなく開始するのだといり事を

にくらべてどの程度のものであ

て感がい一しお深いものがある

ところで大部分の者は洛星高

かるであろう。現に今年の第一

るかは、正式なデーターがない

ある。本紙第十号にも掲載され う場所でもある。と云うととで める所だけではなくて人格を舞 れは、高等学校が単に学問を修 れてはならないことがある。そ

洛星健児の伝統を作つてゆこう まる。君さと希望とで、美しい

れる。式はまずカトリツク教会京一方面からの来賓の神辞が述べられ くなった洛星高等学校々舎で行わ一校長の挨拶が行われる。次いで各 言つてはならないと考える。と

もあれ、高校生活はもうすぐ始

る四月十一日午前十時から準備全

始められ国歌齊唱の後、ホワイト

洛見高等学校の新校告客成式は来 一都教区の古屋戦ノ司教の特別式に

來る四月十

一日挙行

ている。

なお、本校生徒の父兄の他に約 百名の来賓が招待される予定で

て茶草接待が行われることになつ 式を終る。さらにこの後一階に於 れる。最後に全員で核歌を齊唱し ヴィアトール学問理事長が挨拶さ

雑誌をちよつと見ただけでもわ

幸福な三年間であつたと同時に

流大学受験生に於ては成立つと 代=受験勉強時代の方程式も一

のスタートから、受験的強を開

であろう。しかし高等学校一年

べく努力してこそ、大学入学試 る。常に、自己の最適をつくす

聯通過の栄冠が輝くことであろ

だけにー」とあつたのを無視す

したくない。ただ大学受験の為

生々活をただそれだけの為に費

い。楽しくあるべき三年間の学

為の知識だけを私は望んでいな につけたい。しかし、大学への 学へ入ることの出来る能力を身 根なものにしたくない。私は大

ることは出来ないと思う。高等

しかし、その反面に僕達の忘

学生の生活において本当に人間

らしい人間となる為の努力をも

おり、それが極く普通のゆき方 みからというのが常識となつて のは、高等学校の二年生の夏休

いうのが現状の様である。如何

辛い受験勉強の用意もしなけれ

高等学校生活が始まる。同時に

になり、もう、十数日で楽しい 私立の高等学校に進学すること

ばならない。残念ながら高校時

として鍛よ花よと大切にされ、 た。一年入学当時から第一回生 長い様で短い中学生々活であつ を打つ訳である。かえりみれば に挙行される。ここに三年生は

い出深い中学生々活に終止符

第一回卒業式は間もなく盛大

等学校に一部分の者は、他の公

どんなにそれが激しい競争であ 倍となつており、これを見ても

比して、まざつている学科も多

るかがわかると思う。

勿論受験勉強を正式に始める

ではなく、むしろ遅れをとつて

いけれども、決してそればかり

く反省してみることが肝要であ いる学科も少なくないことをよ たゆまざる努力を

謝恩会に一万三千円

つて高等学校の生役会から圧力

たが、顧問宮地宏先生から「まだ 結成する」という三つの意見が出

高校の方針等も定まらぬので高

校の生徒会の体系が整つてからそ

たかつた。

まず「中学校と高等

学校との生定会は分離すべきであ

金校生型が発言権を持つていたに

関係について」の討論が行なわれ 高等学校と中学校との生紀会の

もかかわらず活発な発言はみられ

た生征会が出来たと仮定してその 意見として「中学と高校と分雕し

二つの生紀会をまとめる委員会を

生徒會から出費を決定

る予定の生徒会王権

高州

京話会に一万三千円を出費することを決め 中央委員会では十二日(土)第九回委員会を開き卒業式に行われ

つたので、杉本議長がそれについ

見程度に止めたい」との申出があ 定して現在の所は、それを参考意 れらの生徒会の問題について、決

ての興識があるかどうかを問うた

期の国立大学志願者数は五・五

ので一概に断定する事は出来な

た一生徒の声に、「私は希星高

等学校を大学の単なる予備校の

いが、他の公私立学校の生徒に

生症からは各自百円を徴収することにした。

告が創議長高島冠よりあった。続

いて山田、大川会計から会計報告

つづいて議事に入り、「来年の

牛乳を十円に値下け

爭の第六回生徒総会で可決

屋中 浴 mp 校 鄉 洛星中学校新聞部

マ…総会で群星の問題が確立され

も続けるが、今までの様に強制 結局、群星はつぶさない。今後

売るということになった。希望

的に買わさないで希望者だけに

告

雜景

强

い「群星」への風當

b

部

さい。健全なみなさんの声をおさいしてゆきたいと計画しておさいしてゆきたいと計画してお 待ちしております。 広く募集し、これを次号より掲新聞部ではみなざんの御意見を 生徒会新聞部

なお会は中頃から急に活気をおび今までにみられない活発な論学がくり返された。 生徒会覺を当然出されなければな になり代りに生徒会の会員上して 「牛乳の十円値下げが行れること

あり、中央委員会第十回までの報との意見が出され、更にそれに反 まず、中央委員会の経過報告が一を加えられない様にしてほしい」 ル学園の中に含まれるもので方針 対して中学と高校とはヴィアトー から発言があつた。又もう一つの あ大体似た様なものであるなら、
 合同でやるべきである」と三年生 はここで取りやめとなつた。次に と」環見が出た。相当もんだ結果 それについて検討をしてほしい 下げを行つてほしいという意見が 所異議がなかつたので、この問題 二年日組より提出されていたので 鎌田岩から「購買部でもミルク値

らない」とれについては「十五円 着はきぬ

春

着は含め 3 かすみに酔へるひなづるよ あしの枯れ郷を洗ひ去れ 动

=三年人組外村陽二岩提供) 〈写真は嵯峨野に咲いた木蓮 君きあしたの空に飛べ 一岩菜集より一

はかる為に、クーポン辨を作成し 牛乳を仕入れてつり銭の便宜など てそれで買う」という意見と、 との意見が出た。 を考えて、十円とすべきである」 を仕入れているから、もつと安い 「現在、十円五十銭でホモ牛乳

收を決議 生徒會費

「勿論一度

この時。突然顧問の小沢先生から 「当然生曜会員の義務として払わ」なれば値段が高くなる。」「生徒

で出来ているので買う人数が少く

及ぶ総会も遂に幕を閉じた。

の牛乳を売って購買部員の負担を一じく十三円にして開売部員の便を 五円として生紀会の経濟力を保持 はかり又、市価では十三円でも十 しよう」という意見と「市価と問 唇をよせくる朝じばよ T

ようにと要求がありそれに答えて 由に買うべきだ。」とか、「それ と答えた。「頭制はやめて同人 高める為に発行したものである」 高橋岩は「生紀諸岩の文芸熱を に対して辨読発行の理由を述べる 意見が出され、文芸部長の高橋君一 雑誌のようにして好きなものが自 星の強制売却」に対して反対の 続いて三年

C組の田中君から

「静 央委員会に計ることになった。 し、金額は後程会計が計算し、中 代りに生徒会費を出す」冒光決議 そしてしばらくもめたが、結局 慢を出すべきだ」と発言された。 「牛乳光十円にする

ばよい」「しかし今は人数が多い では「群星」が余分な文を失くせ から三十五円乃至四十円の印刷代 害だけでそんなに言い、生従会の みんながその様に自己の直接の利 より、その必要を認めなかつたが はバンや牛乳の利益を得ることに なければならない会費を、今まで 利益を考えないならば当然生徒会 出来ない」との発言があつて、事 しかし、議長はこれを受けつけず 後であるからそのような意見はと 探決され、可決されたことは変更 、又宮地先生からも、 落着に及んだ。その為二時間にも 長の手溶ちだ。」とつめ寄つた。 してしまつた。」と反ばくし「試 りあつかえない」と却下され「先 が出て拍手がおとつたが、「探決 う。」ということに落ちついた。 程意見が出つくざないうちに採決 を新設してはどうか」という意見 「群星」を廃して、新聞に交芸欄 会から出版している「群風」は生 この時、三年生の佐竹岩などから 」に興味を持つ者のみ、これを買 で通り生徒会から発行して「群屋 とりかわされ、探袂の結果「今ま の領ではないか。」等の討論が 論機関を失うことであり結局我々 務として買わねばならない。 **徒達のものであるから生徒達は義** 「群星」をつぶすことは我々の言

のであろうか? を手約すると云うととは出来な ある。今後辞風はどの様になる いと来る。全くとまつたことで 制というと内容のわからないの い。」と云うし、それでは予約 なくなる。文芸部長は希望者が た。これではさらに訳がわから 部印刷したら良いのかわからな 何人いるかわからないから「何 当然の臓器である。」といわれ

段も高くなるので買う者を減る

物だけとなると一部あたりの値

すると又、「値段が高くきるの

マ…とにかくも創立以来三年間は すぎた。しかし今日僕達の為に 方とお別れしなければならない 精根をかたむけて下さつた先生

第六回生徒締会は三月十九日(上)午前十時三十七分から本校講堂で開催され次の事項を決議した。

今後は希望者のみに

生徳会聯買部の牛乳を十円に値下げする。但しその変りとして各会員は生徳会費を収める。

金

上、反対の者も協力するのが

生は「つぶさない人決まった以 所がとの問題について宮地が先

る。それでいて、つぶすなとい うのであるから訳がわからない

群星がづぶれてしまうと上にな で又滅る」と云う具合に、結局

費の額については会計が責任をもつてこれを検討し、後に中央委員会に計ること。

生徒会発行の雑誌「群屋」は今まで通り生母会で運営していくが、今までの様に全員が強制的

にこれを買うということなく、希望者のみにこれを売ること。

軽くして、つまり、つり銭の便を

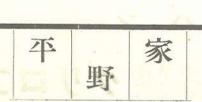
ただ先生ありがとうとざいま 校をことまで作り上げてゆく為 いと思う。それが僕選のせめて での努力に報いる為にも、なお ない。僕達はことに先生の今ま に如何に努力されたかを思うと した」という感謝の言葉の他に 層の努力をおしんではならな

県命になつていただいた先生方 生である。創立以来、あるい とお別れすることは、僕達にと せめてもら一年僕達の成長をみ って本当に残念なことであり、 え、同じ様に僕達の為に一生 は一昨年以来、その年月とそ違

これらの先生方が僕達の為に本 ていただぎたかつたと思う。

との学校表去られる先生方ーそ マ… 本業式の後で高級会を開くと 先生方の期待にそう道であろう ていたが、食事のことで佐々木 部に知人が居るからといつて、 先生に相談すると、大丸の食堂 委員会を作つていろいろ用意し いうので、中央委員会では準備 もの先生方への御恩返しでおり

生に感謝している」とはミスタ えに佐々木先生のオカゲで、先 いオ質である。 という。「これと言うのもひと マケレて、さらに顕光多くする 円也のととろを金百十円也にオ ことに決めたのだが、金百八十 相談の結果ランチにするという つれて行って下さった。そこで 代表の弁だが、さすがにオ広



上京区北野紅梅町

おいしくて栄養のある

洛星中学校京都牛乳處理場生徒会指定店京都牛乳處理場

★ 京都市右京区太秦木ノ下町 TEL ® 2 6 2 2

第一回校内辯論大会-

目に、そ

の中には

食事は

ラ

全体の競

から、ひ 技も多い

た。佐々木先生の紹介で大丸の金

謝恩会の食事はランチと決定し

科室で行うととになつている。

又その他にジュースとケーキが

つ余興を用意しているが、内容は

発表された。たお人学式は四月十 れたが、十五日合格者は十二人と 十、十一、十二日の三日間行わ

これが織り上がるのは五月頃に なお、この校旗は錦織のもので

野球部は三年生部員はおらず、二 年生、一年生だけで気勢を上げて

かんに部員を募集している。現在

野球部ではポスターをはり、

野球部員募る

うして埋めるかが心配されている ことになり、今後この不足額をど よそ二万円足らずが不足している たのみで、六万円の目標額までお

先生に三人慢才を交渉中である。

では、神谷先生、前田先生、斉藤

しる予定である。なお、準備委員

洛星高校へ十二人 洛里高等学校入学試験は、二月

一方生促側は、各クラスで三つづ

党部にたのみ、

料理は本校三階理

も三度

出場して

私選が領上で手をふり声をはり上一ウ先生の合唱が確定している。小

地謡をつとめ、豊島君が仕舞を演

又、神谷、

斎藤、前田三先生が

君,干原君、茶藤君、中川君は見

ていたが、三月十八日現在、答附

金の総額は四万円をはるかにこえ

答附を三年生の保護者に呼びかけ

不校より公立高校を受けた諸口

四君見事合格

事に合格しました。

迎え、まざまざと入学式が思い出

は長い旅であつたかもしれない。

サンタの衣裳はどこにあるのだろ

らか。さらに楽しかつたのは二十

▽運

は、何か故郷へ帰つたような気が

中学校へ入つて始めての夏休み

の夜にはパーティーを開き、川島

リスマスであつたろう。二十三日

たのしかつたのは一年生の時のク

何と言つてもクリスマスで一番

マクリスマス

したものだ。中学生活のなれない 私達に取って、一学期という期間

一るなど、どんなに楽しくおもしろ 先生のサンタのおじいさんが訪れ

かつたことであつたろう。今あの

なれ生徒にもなじみだしたころに

入学してから一カ月、学校にも

は忙しく、全体に見るとさびしい

第一回の運動会は私達にとうて

運動会であつた。というのは参加

けまでケームや余興でさわいだと

とである。生征数の多くなつた今

日出来ないことだけに、一敗と深

ミサが済んでから二十五日の夜明

四日の夜十二時のミサにあづかり

ら三年私道は今日ここに卒業式を びた荒地だつたのである。あれか 動場は、草や木の伸び放だいに伸 いがぬげきらず、今この大きな弾 新しい制服に包まれて、中学への

もは煮て食べた時のこと、今でも って帰って花は花びんに含し、い

忘れられないたのしい思い出であ

歩を飾る第一回入学式が行われ 昭和二十七年四月洛星中学校の

星

思えばあの時校舎はペンキのにお にしめて講堂に並んだのである。 希望と未知な世界への不安・を胸

▽夏

30

年間何を行って来たか、洛展の階史にどんな金属銀展を散りばめたか今ととにふりかえつてみる。

私還が入学してからはや三年が過ぎ去り、きよう目出度く卒業するととになつた。私達はとの三

間

を

水

みる

中

生

を

飾

る

坐

0

光

一年生時代-

たからA

けであつ

先生方だ

い思い出として残っている。

百余名と 者は私選

B, Q

クラスと

、始めて私達の前にあらわれたの

小学校にはなかつた行事として

弁論大

は弁論大会であつた。まだ小さい

の桃太郎踊りと、校長先生、ナド

当つていたが、今までに門路先生

に余興をしてもらおうと各先生に

か一つはやるといつておられるが

内容は語られない。

謝原会準備委員会では、先生方一沢先生と加地先生と宮地先生も何

多さいな謝恩会のプロ

グラ

4

順番に

マス

式

それにえんどうやかぼちやも植え

だ。花も植えたし、いもも植えた た。今の高等学校の校舎のところ

実がなつた時のうれしる、家へ持 た。そうして夏になつて花が咲き

ている。

式の辞に始ま 第一回路星中学校卒業式は三月二十三日(水)午前十時から本校護堂に於て、卒築生、在校生、先生、保護者、それ 式はまず開 に来寄諸氏列席の下に盛大に挙行される。

業生全員に卒業証書が校長先生 君が代」を言唱する。次に卒 り続いて国歌

られる。まず校長先生の告辞が から卒業を記念して、言葉が送 とになっている。との後各方面 から授与ざれる。更に続いて、 **拠船生征に賞いが授与されると**

を祝す祝辞が述べられる。これ 総代の卒業生のとの日の卒業 の祝辞にうつり、続いて在校生 あり、次いで古屋京都酸区司数

に答えて卒業生の総代からの答。恩茶話会」が盛大に催おざれる。 なお正午からは生徒会主催の「神 つて晴れの卒業式を終る。 辞が述べられる。との後、 街の光を齊唱し、閉式の辞があ

げている姿は、今思い出してみる とほほえまずにはいられない。

始 年

つに含び面がみえだした。面一面

兄貴になつて約二ケ月、

V II

충

び

畑を作つた事を覚えている。そう一きつづきというととも何度もあつ の一つとして良い話しの顔となつ 余り少かつたのでさびしい運動会 た。このように忙しいが生徒数が だつたわけである。だが今は思出 の弟が出来たのだ。数室へ入ると い物は弟に使わずのであつた。そ 今日からは兄貴である。一二〇名 入つて二度目の春がやつて来た。 たのも思えば低低えましい思い出 の時何か降くなつたようた気がし 又新しい机橋子が並んでいた。

古 昭和二十八年四月、この学校へ いやら、気になつてしかたなかつ や類にブッと一つか二つかであ たのもゆかいな思出である。 るそのとろは恥しいやらめずらし 出ているものは少く、多くはあご 測の頭にもはつきりと配憶されて 昭和二十九年一月、この日は

〉生徒会發足

新達することを祈る次第である。 発躍したのである。将来ますます その生徒会が現在の生徒会にまで は佐竹君であつたと記憶している が発足した。その時の生徒会会長 になつた昭和二十八年春生紀会 一学年揃つてクラブ活動も盛ん 一言語では言い表わせないものであ 学校に関する私達生徒にとつても の時の喜びは杉本君個人ばかりで なく学校にとつても、そしてその 本君が優勝したことである。開校 して約二年始めて校外試合に優勝 は京都市中学校英語暗誦大会に杉 したのである。その時の感激、そ しい一点のついた日である。それいるだろう。 浴星の 歴史と舞か いるだろう。



に、よくあれだけ頑張つたもので た他校チームを相手 三年生ばかりを揃え 第二位を勝得た。二 年生と一年生で編成 立中学校駅伝大会は した本校チームが、

うか、ただ音楽の先生だけでなか一にくの風に鉛が大きくゆれてほど 達はどれだけ深い行撃を受けたろ 私達が入学した時から二年間、

▽英語暗誦大会

つた思い出は大船へ行った時あい

運動会網引き 二年生時代-て来る。 二十九年一月、私 ▽驛傳に 第二位

ある。三年間をかえりみてスポー ださせることである。 ッを受する者にははつきりと思い

私達の為につくして下さつた小田 先生が学校を去ると聞いた時、私 〉恩師をおくる

次から次から浮んで来る。苦しか の温泉ブールで遊んだこと、等々

▽英語弁論大会

appett,

の喜びが湧きかえつ つた。今年の英語暗 今日、新たにあの時 師人会にも優勝した が学校を去られることを聞いた私 手であつた小沢、斎藤、菅野先生 つた小田先生、そして今又ととに一んどが船によつた事である。今思 私達の良き遊び相手であり相談相 達は、新たにあの時の悲しみを思 い出すのである。

こと、次の日龍宮船に乗つたこと う。それから修善寺温泉へ行つた い出しても身ぶるいする程である

等まだ忘れられない思い出である

マハンドボ

部大活躍

マ修 學 旅

にうれしかつたろう。京都を出発 次の日十国峠を通つたこと、伊東 わりレークホテルでとまつたこと みた富士山、その富士山がくもつ に五月末にやつて来た時、どんな とである。それから富士五湖をま 時の感激は、今もなお忘れないと た大空にぬつと白い頭を表わした 宮士山である。何度か絵に書き夢 した次の朝、まず私達を喜ばす第 一号が目の前に開けた。それは どんなにか待つた修学旅行が遂 かたまつたハンドボール部員とそ ろう。小西先生を先頭にがつちり ある。弾決勝で浜寺に破れたが、 のとつているのは近畿大会の事で 吸つたものだ。

今もはつきり顔に 次の日だったがよくもあれだけ道 春季大会等は修学旅行から帰つた 出場ごとに、係勝であつた。特に 季大会、三都市予齊、近戀予選等 ある容率大会から、夏密大会、秋 はハンドボール部の大活躍、数々 洛星のポープであった。 時の喜びは一生忘れられないであ 彦根西中学校、南中学等を敬つた

やした事である。 この事は、沿風の歴史の一直をと をいかに容とばした事であろう。 岩が第七位を勝得たことは、私達 する全日本英語弁論大会に、杉本 今までなかつた全日本本相手と に第七位

> 英語暗誦大会 に優勝

ぬ様に餌願いする。 (T) から築き上げられた歴史をくずさ と三度目でカップが貰えるという 高島君が優勝した。来年優勝する ていた英語暗誦大会に今年も又、 去年優勝しただけに興味を持

図書室に読売 ニユース

今年の卒業記念に

父兄から校 旗を寄贈

を申し合わせ、その無配名による で
本校の
「校旗」
を寄贈すること の本校卒業の配念として、六万円 先日三年生の保護者有志は三年生 度はりかえられるもので、 られることになった。一週間に一 図書室に読売写真ニユースがは 一回に

定している。 て、二、三カ所旅行するととを予 歴史部の見學旅行 歴史部ではこの

容休みを利用

SIRYOKUDO. OPT.,

京都府立病院前

電 ③ 6867

忘れられない思い出がある。それ

スポーツファンにはどうしても

バンの

洛星中学校 生徒会指定店 クリロフ

上京区等持院西町 TEL④6614